

統計研修講義計画書

研修課程	G I Sによる統計活用	講義科目	Q G I Sの演習	講義時間	2コマ
講師	小西 純 (公財) 統計情報研究開発センター 主任研究員				

※1コマ70分

講義のねらい

「QGISの基本」では事前に用意されたプロジェクトファイルを操作して演習を行います。

本講義では、オープンデータのダウンロード、指標の演算、既存住所データの座標付与とその地図化など、データの入手、取り込み、加工、各種設定について演習することにより、実際の作業上の注意点や作業の流れについて習得します。

QGISを初めて使う方が、データの入手から加工、分析まで、基本的な操作がひと通り出来るようになることを目標とします。

指導項目と内容

指導項目	内 容
○データのダウンロードと取り込み	<p>e-Stat（政府統計の総合窓口）や国土数値情報ダウンロードサービスなどオープンデータをダウンロードできるサイトから地図データや統計データをダウンロードし、QGIS上に取り込みます。ダウンロードから取り込みまでの一連の操作を行うことにより、一からQGISを使用する手順を習得します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小地域統計データのダウンロードと取り込み 2. 鉄道データのダウンロードと取り込み 3. 高齢化率の計算と統計地図作成
○アドレスマッチングと地図化	<p>地域包括支援センターの住所データを利用してQGIS上に地域包括支援センターの位置をポイントで表示します。加えて町丁字の地図データを加工し、地域包括支援センターの担当地区の境界データを作成します。これらのデータをQGISに取り込み、地域人口と地域包括支援センターの関係を視覚化します。</p> <p>この作業を通して、住所データから地図データを作成する際の注意点や作成した地図の見方について説明します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域包括支援センターの座標付与 2. 座標データからポイントデータを作成する 3. 担当地区の境界データの作成（町丁・字等境界の加工） 4. 作成した地図の見方

講義形態 指導方法	講義、QGISの演習
受講に必要な 基礎知識等	EXCELによる四則演算、ファイルの保存などPC利用に関する基礎知識